

中部地区 公民館だより

第188号

令和8年10月1日発行
上山市中部地区公民館
上山市十日町4番11号
TEL 673-2588
FAX 673-0379

子どもの笑顔は地域の宝

8月22日(土)、公民館を開放して「キッズオープンデー」を開催しました。上山小学校の児童を対象にした夏休みの企画で、気軽に公民館に足を運んでもらうことを目的に開催しました。8月2日に行われた宿題教室に続き、第2弾のお楽しみ企画として、綿菓子づくり、水風船すくい、射的、輪投げ、竹とんぼ、おもちゃの金魚すくい、駄菓子お買い物体験、BINGO 大会などのブースを館内に設置し、自由に遊んでもらいました。屋外では信用金庫さん駐車場で地区消防団の方にご協力いただき、消防車の展示と消防服を着用して写真撮影がありました。撮った写真はその場でできあがり「早い！すごい！」と保護者の方にも喜んでいただきました。

今年の「キッズオープンデー」は、地区の方、事業協力員、実行委員など多くの方にご協力いただき、スムーズに開催できました。大変ありがとうございました。



水風船すくい

真夏のイベントらしく、水遊びが人気で、水風船をすくったり、自分で水風船を作ったりして楽しい時間を過ごしました。空気と水を風船に入れるのを失敗して、水しぶきを全身に浴びても、「キャー」という悲鳴とともに「冷たくて気持ちいい」と元気な声も聞かれました。「水いつまでも触ってられる」とプールから離れない児童もいて、夏の楽しいひと時を過ごしました。

キッズオープンデー



消防自動車の前でパチリ



綿菓子づくり



お楽しみのビンゴ大会！

終了間近に行われたビンゴ大会は、大変盛り上がりました。読み上げ担当の荒井会長の話術もプラスして、数字が読まれるたびに歓声があがりました。カードを見つめ今か今かと“BINGO”を待つ真剣な表情と、景品を手にし、にっこりする表情とのギャップが子どもらしくて、周りの大人もにっこり笑顔になりました。



輪投げ

高齢者教室 学習会④



地域包括支援センター
堀田直美さん



健康講座

8月5日(水)、上山市地域包括支援センターの主査兼管理者の堀田直美さんを講師に招き、高齢者教室で健康講座を開催しました。今回のテーマは「認知症の対応」という事で新しい認知症観など本人の認知症予防だけでなく、認知症の方への対応の仕方、接し方など、例題をあげながら学習しました。認知症の対応をする人も、心と身体を元気に保ち無理をしないためにリフレッシュし、もしストレスを感じた時には自分の「つらい」という気持ちを友人や家族に話して、ひとりで抱え込まないようにしましょうという事でした。会員の方からは質問もあり、堀田さんには丁寧に答えていただき、とても有意義な時間を過ごす事ができました。



- ・認知症の人にかかわる人の心がまえは『さりげなく自然に』が一番の支援になります
- ・認知症の人への接し方はさりげない見守りとやさしい声がけ



- 安心感を与える
- 普通の人と同じように接して、人間として尊重する
- プライドを傷つけない
- 失敗を責めない
- 訴えを頭ごなしに否定しない
- 教えようとしな
- 短く簡潔な言い方をする

女性だけのお茶会

9月2日(水)、中部地区公民館にて「女性だけのお茶会」を開催しました。普段から公民館を利用してくださってる方から参加していただき、女性の目線で公民館への意見、要望をお伺いしました。最初に昨年のお茶会で出された要望について改善した点と、改善できなかった理由について報告と意見交換をしました。今後も利用者の意見を参考にしながら、より良い公民館にしていきたいと思ひます。



高齢者教室 映画鑑賞



9月8日(火)、高齢者教室の映画鑑賞で、ムービーオンやまがたにでかけました。映画は「時には懺悔を」という作品で障がいのある子どもを育てた経験を基にした作品で、特別な支援を必要とする当事者も出演した作品です。映画鑑賞の後に遅くなった昼食をとりながら映画の感想を語り合い、公民館に戻ってきました。

野山の植物観察ウォーキング



9月16日(水)、山形市野草園に行ってきました。

雨が降るのを心配しながらの散策でしたが、雨に降られる事もなく、園内では自然学習センターの近辺を散策するコースと、アサギマダラを見ながら草花を散策するコースにわかれてました。朝方まで降った雨で濡れた草花を見るのも綺麗でした。アサギマダラは一頭だけみることができました。



地域の宝さがしウォークラリーを10月25日(日)に行います。

今年度は『城下町 宝さがしウォークラリー(神様・仏様・坂めぐりウォーク)』です。

まだ募集しておりますので興味のある方は公民館までお申し込みください。

健康講座

参加者募集

10月2日(金)午前9時から受付します

～感染対策～

正しく知って、きちんと予防

日 時	10月19日(月)
	午後1時30分から午後3時
場 所	中部地区公民館 多目的ホール
講 師	山大医学部附属病院 感染制御部 松寄葉子先生
対 象	中部地区管内在住の方
募集人数	20人程度
参 加 費	無料
申込締切	10月13日(火)

ラージボール

第2回講習会

初めての方も大歓迎です

日 時	11月5日(木)
	午前9時30分から正午まで
場 所	生涯学習センター
対 象	中部地区管内在住の方
募集人数	15人程度
参 加 費	無料
申込締切	10月29日(木)
持 ち 物	内履き、タオル
	飲み物は公民館で準備します

公民館大掃除

日 時	11月7日(土)午前8時～9時頃まで
場 所	中部地区公民館内外と駐車場

ボランティア募集

10月の予定

16日(金)	第2回運営協議会
19日(月)	健康講座「感染対策」
21日(水)	はこべの会サロン
25日(日)	地域の宝さがしウォークラリー 神様、仏様、坂めぐりウォーク

10月の百歳体操

1、8、15、22、29日

はこべの会 10月のサロン

「ぶどう」の バイキング&茶話会



日 時	10月21日(水)午前10時から
場 所	中部地区公民館 多目的ホール
会 費	500円
申込締切	10月15日(木)

藤井松平氏シリーズ7. 松平信宝（3）「温泉碑台石」

『上山見聞随筆』に「万延元年改元の年の秋に軽井沢往来の敷石修繕の時、成橋氏の前より大石を掘り起こしこの事御上へ上申、この大石を以て温泉の碑を建つべき旨にて町中家並びに人足にて湯の上観音堂の前に引き運ぶ。されどもその儘ままになりて今以て右の碑建立の事成就せず」との記述があります。

軽井沢成橋氏十内邸は現在の清光院駐車場の二軒北、元禄頃の屋敷は持筒十内邸でした。「鶴脛温泉之碑」経緯を少し辿ってみましょう。

「温泉碑」は、以前の碑文紹介の折りに紹介しましたが、嘉永五（1852）年小春月（十月）に時の藩主「松平信庸のふみち」侯が後世に上ノ山温泉の恩沢を伝えようというものでした。その「碑文」ですが、上山藩は信宝侯が幕府に申請、著名な林大学頭復斎の撰文、戸川安清の揮毫、題辞書松平信通侯となっています。

「鶴脛温泉碑」は、第一「嘉永五（1852）年小春月」とありますが、藤井松平信庸侯は天保十五（1844）年生なので、嘉永五（1852）年当時は8才の幼年。以前に信庸侯の墨書なるものを拝見したことがありましたが、温泉碑文の見事な篆書題辞の能筆とは異なっていました。第二、撰文林復斎は嘉永六（1853）年に第二林家の出で大学頭家を継いで撰文（碑文作成）です。復斎は優秀で紅葉山文庫（将軍家図書館）書物奉行、史書も著し、翌年・翌々年の米国ペリー来航時に全権大使として折衝に当たりました。昇竜のごとき能吏時代の文と詩ということになります。第三、書は戸川安清やすずみで書法に通じ将軍家慶（12代）、家定（13代）、家茂（14代）任えた治績ある有司（役人）でした。戸川安清の書は現在全国ゆかりの地で指定文化財になっています。

さて、第四「台座石」ですが、「碑文」は嘉永五（1852）年の日付で、台座石が軽井沢道補修で掘り起こされたのはしばらく後の安政七（1860）年の秋。碑文はすでに軸として完成し上山に届き、台座石として軽井沢から届けがあって湯の上観音境内に町家衆や人足に引き上げられたという順序になります。

補足ですが、江戸の初期から幾度も城下町作

りが繰り返され、西山麓一帯の居住地が整備拡大されていきます。現在の軽井沢の道は往古から通じていたわけではなく、元は鏡橋から（切り通しの方に）北進して古往還に通じていました。その後に家中町として整備され、幕末前にも軽井沢道があらためて整備されていたことを示しています。

ペリーが来航して物情騒然で「温泉碑」建立どころでなくなったという背景には、「鶴脛温泉の由来、繁昌、効用、特質を述べ、終わりに美しい漢詩を加え、温泉の徳沢が松平家と共に永く世に伝わるように賞賛する」が、在所疲弊のなか頼みの温泉宿場の運上金、「宿場、温泉の恩沢」を主題とし、弱年の信宝侯の世嗣信庸侯を表に出して上ノ山温泉と藤井松平家の弥栄を建立顕彰したかったということになります。何故世嗣信庸名なのか、父信宝侯は藩政はもう自らの時代のものではないと考えて世嗣を表に出したのでしょうか。

台座石を湯の上観音に引き上げたのは、大火以降も下大湯と最上札所の湯の上観音は上ノ山の賑わいの象徴で、飴売り節に歌われるほど飯盛女、町衆湯客に敬われ、山田音羽などの旅人も参詣する「上山名産名所番付」"関脇"の観音堂なのでふさわしい場所と判断されたのでしょう。

〔以上は、文献の記載（年月）に基づいて一部筆者が考察しました〕



※参考文献：「藤井御傳記」①、「鶴脛温泉記」③、「上山見聞随筆」⑩、「下大湯由来記」、「鶴脛之温泉碑文」、「羽州上山藤井松平御城下街絵図」（翻刻2枚）、「羽州上山温泉碑」（浄光寺所蔵）。